

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町村 名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
1	秋田県	秋田市	1	高規格幹線道路のミッシング リンク解消に向け、道路ネット ワーク整備を重点的に推進 すること	23		第2章第4節3. (4) 物流拠点の整備と 交通・情報通信 ネットワークの構築	日常生活において自動車交通への依存度が高い東北地方にとって、道路は、生活と経済・社会活動を支える社会資本の根幹であるため、高度医療施設など主要地点への交通所要時間の短縮や、冬期間における慢性的な交通渋滞の解消など、道路整備に対する地域住民の願いは切実であり、災害時のリスク分散や企業誘致及び、地域雇用の創出につながる高規格幹線道路のミッシングリンク解消による道路ネットワーク整備は、最も重要かつ喫緊の課題となっている。このような現状から、住民の生命・財産を守り豊かな生活を支えるために、計画的で着実な道路整備の推進が必要である。
2	岩手県	釜石市	1	岩手県釜石市が開催地の一つである2019年ラグビーワールドカップや、北海道新幹線開通等を契機として国内外から、観光客を被災地へ誘致するなどの取組を推進する。	46		「観光産業復興の推進」に関する事項	釜石市は、2019年のラグビーワールドカップの開催地であり、これは釜石のみならず東北の復興を全世界へ直接アピールできる貴重な機会である。これと関連して被災地へ観光客を誘致する取り組みが必要になるため。
3	秋田県	秋田市	1	高規格幹線道路のミッシング リンク解消に向け、道路ネット ワーク整備を重点的に推進 すること	50		第4章第2節1. (2) 日本海・太平洋の 2面活用と連携強 化による「命のみ ち」の確保	日常生活において自動車交通への依存度が高い東北地方にとって、道路は、生活と経済・社会活動を支える社会資本の根幹であるため、高度医療施設など主要地点への交通所要時間の短縮や、冬期間における慢性的な交通渋滞の解消など、道路整備に対する地域住民の願いは切実であり、災害時のリスク分散や企業誘致及び、地域雇用の創出につながる高規格幹線道路のミッシングリンク解消による道路ネットワーク整備は、最も重要かつ喫緊の課題となっている。このような現状から、住民の生命・財産を守り豊かな生活を支えるために、計画的で着実な道路整備の推進が必要である。

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町 村名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
4	新潟県	上越市	1	日本海側における高速道路をはじめとした高規格幹線道路や地域高規格道路のミッシングリンクの解消	50		「中間整理」の「災害に強い防災先進圏域の実現」18行目	当地域では、高規格幹線道路の北陸自動車道・上信越自動車道と関越自動車道を結び、信頼性の高い循環型広域ネットワークを形成する地域高規格道路である上越魚沼地域振興快速道路が未整備の状態である。 本道路は、東北圏や関東圏を結ぶ路線であるとともに、上越地方生活圏と十日町市・南魚沼市を中心とする魚沼地方生活圏を結ぶ物資の流通や人の交流を活発化を図るため極めて重要な路線である。 平成19年7月に発生した中越沖地震では、北陸自動車道や国道8号が通行不能となり、本道路と並行する国道253号が代替道路の役割を果たしたものの、交通渋滞が発生したことにより、災害時の代替機能をより発揮させるため、本地域高規格道路の必要性が確認された。 さらに、「東日本大震災」や「長野県北部地震」においても、本道路が東北圏や関東圏、また上越地方から魚沼地方の避難経路として十分に発揮する路線であることを認識した。 このことから、避難経路だけでなく、救命救急や物流の輸送としての広域的な機能を発揮させるため、当区間を含め圏域内のミッシングリンクについて早期の解消を図る必要がある。
5	宮城県	名取市	1	(広域交通基盤の防災機能強化)の文章の最後に次の文言を追記する。 さらに、「命のみち」の視点として、各地域空港間のアクセス性強化に努めていく。	51		(広域交通基盤の防災機能強化)	東日本大震災において、山形空港が宮城県への物資供給の拠点となった。「命のみち」を考える上で、空港間アクセスの強化は大変重要と考えるため。

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町 村名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
6	宮城県	名取市	2	(災害の記録と伝承)の記述 の32行目に次のとおり加筆 し、(仮称)津波学習施設の 整備を提案する。 …、復興祈念公園、道の駅 等の活用のほか、(仮称)津 波学習施設を整備し、次世 代に災害を語り継ぎ…	56		(災害の記録と伝 承) 32行目	災害のメカニズムと災害時の行動、日頃からの備えなど、東日本大震災の教訓を後 世に伝えていくことは、安全・安心な生活環境を確保する上で欠かせないことであり、 また、広域的な集客効果も期待できるため。
7	青森県	八戸市	1	がん医療・緩和ケア対策の 推進に関する取組を重点的 に推進すること	80		「(1)医療サービスの 充実と救急対応 の向上」に関する 事項	高齢社会の進展とともにがんの罹患者数、死亡者数は今後も増加していくことが見込 まれている。八戸市でも緩和ケアの充実を求める声が年々高まっており、市のがん対 策を総合的に推進するため緩和ケア病棟の整備に向けて検討を進めている。 日本人の死因第1位であるがん対策の取組が広域的観点から重点的に推進される ことにより、安心して暮らせる圏域づくりに向けた質の高い地域医療の確保や医療拠 点の形成の推進が期待される。 また、広域連携プロジェクト「東北圏の生活を支える地域医療支援プロジェクト」に「が ん医療の均てん化の推進」が位置づけられていることから、中間整理の主要な施策 にも同様に記載する必要があると考える。
8	岩手県	北上市	1	エネルギー・インフラとしての LNG広域供給体制の整備	88		「(1)エネルギーの 安定供給」に関す る事項	平成26年度に東北経済産業局において「北上・金ヶ崎地域における天然ガス利活用 勉強会」が開催され、地方における産業競争力の強化を進めるため、天然ガスの広 域供給事業の推進が不可欠との指摘がなされており、エネルギー・セキュリティの向 上や国土強靱化のためにも、同インフラの整備が期待される。

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町 村名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
9	青森県	八戸市	2	レアアース開発や海底下層部の生命圏の研究を含めた新たな海洋資源の開発に向けた人材や関連産業の育成に関する取組を重点的に推進すること	90		「(2)エネルギー技術開発の推進」に関する事項	国立研究開発法人海洋研究開発機構の地球深部探査船「ちきゅう」による掘削調査により、八戸沖の海底下における炭素循環システムや世界最深の微生物群の解明に向けた研究が行われている。 このような中、八戸工業大学は同機構との連携協定に基づき、海洋資源開発に関わる人材育成や海洋エネルギーに関する研究・技術開発など、共同で事業を進める拠点となる「JAMSTEC連携連絡室」を開所したところ。 また、政府関係機関の地方移転に係る八戸市関係分として、同機構の人材育成機能の一部を同大学に移転するよう青森県が国に提案をしている。 3方を海で囲まれ、広大な海域を有する東北圏の強みを生かした幅広い分野における海洋開発の取組が重要であり、こうした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、高度技術人材や、その受け皿となる関連産業の集積が図られ、東北の地域資源を有効に活用した次世代産業の拠点形成に向けた研究開発等の促進の効果が高まることが期待される。
10	青森県	八戸市	3	北海道・北東北縄文遺跡群などの世界遺産登録に向けた取組みを通じた歴史的な文化遺産等の保存・継承を重点的に推進すること	98		「(1)地域資源の再発見と利活用の推進及び「田舎磨き」による新たな価値観への対応」の地域住民等による地域資源の再発見と利活用に関する事項	北海道及び北東北3県の関係18自治体は連携しながら、縄文遺跡群の世界遺産登録に取り組んでいる。 構成市町村の1つである八戸市においても、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館において、国宝「合掌土偶」をはじめとする出土品等を展示するとともに、地域住民のボランティアと協力しながら、縄文文化の発信に努めている。 縄文遺跡群は、北海道・北東北3県にまたがる広域的な文化遺産であり、こうした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、世界に誇る伝統文化の継承機運が盛り上がるとともに、観光資源としての魅力発信の効果が高まることが期待される。 また、広域連携プロジェクト「『四季の魅力溢れる東北』を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクト」の歴史・伝統文化の保存・継承に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が位置づけられていることから、中間整理の主要な施策にも同様に記載する必要があると考える。

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町 村名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
11	青森県	八戸市	4	八戸三社大祭、角館祭り、土 崎神明社祭、花輪祭、新庄ま つりの「山・鉾・屋台行事」ユ ネスコ無形文化遺産登録(代 表一覧表記載)に向けた取 組を通じた歴史的祭礼行事 の次代への継承に関する取 組を重点的に推進すること	98		「(1)地域資源の 再発見と利活用の 推進及び「田舎磨 き」による新たな価 値観への対応」の 地域住民等による 地域資源の再発見 と利活用に関する 事項	八戸市では、地域と一体となって、八戸三社大祭の保存・継承に努めてきており、今 回のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組の一環として関係機関・団体と連携し ながら周知の強化を図っている。 八戸市を含む東北5市が登録に向けた代表一覧表に記載されているところであり、こ うした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、世界に誇る伝統文化の 継承機運が盛り上がりとともに、観光資源としての魅力発信の効果が高まることが期 待される。
12	青森県	八戸市	5	三陸ジオパークを活用した観 光振興に関する取組や ニューツーリズムの一環とし てジオツーリズムの創出や受 け皿づくりの取組を重点的に 推進すること	99		「(1)地域資源の 再発見と利活用の 推進及び「田舎磨 き」による新たな価 値観への対応」の ニューツーリズムに 関する事項	青森県、岩手県、宮城県の3県にまたがる三陸ジオパークについて、構成市町村等 で構成される三陸ジオパーク推進協議会において、ジオツアーやフォーラムの開催等 の広域的な取組が行われている。 こうした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、三陸復興国立公園や みちのく潮風トレイルとの観光面における相乗効果が高まることが期待される。
13	秋田県	秋田市	1	高規格幹線道路のミッシング リンク解消に向け、道路ネッ トワーク整備を重点的に推進 すること	107		第4章第6節2. (1) 格子状骨格道路 ネットワークの整備 と効率的活用	日常生活において自動車交通への依存度が高い東北地方にとって、道路は、生活 と経済・社会活動を支える社会資本の根幹であるため、高度医療施設など主要地点 への交通所要時間の短縮や、冬期間における慢性的な交通渋滞の解消など、道路 整備に対する地域住民の願いは切実であり、災害時のリスク分散や企業誘致及び、 地域雇用の創出につながる高規格幹線道路のミッシングリンク解消による道路ネッ トワーク整備は、最も重要かつ喫緊の課題となっている。このような現状から、住民の 生命・財産を守り豊かな生活を支えるために、計画的で着実な道路整備の推進が必要 である。

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町 村名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
14	新潟県	上越市	1	日本海側における高速道路をはじめとした高規格幹線道路や地域高規格道路のミッシングリンクの解消			「安全・安心な東北圏を形成する大規模地震災害対策」	当地域では、高規格幹線道路の北陸自動車道・上信越自動車道と関越自動車道を結び、信頼性の高い循環型広域ネットワークを形成する地域高規格道路である上越魚沼地域振興快速道路が未整備の状態である。 本道路は、東北圏や関東圏を結ぶ路線であるとともに、上越地方生活圏と十日町市・南魚沼市を中心とする魚沼地方生活圏を結ぶ物資の流通や人の交流を活発化を図るため極めて重要な路線である。 平成19年7月に発生した中越沖地震では、北陸自動車道や国道8号が通行不能となり、本道路と並行する国道253号が代替道路の役割を果たしたものの、交通渋滞が発生したことにより、災害時の代替機能をより発揮させるため、本地域高規格道路の必要性が確認された。 さらに、「東日本大震災」や「長野県北部地震」においても、本道路が東北圏や関東圏、また上越地方から魚沼地方の避難経路として十分に発揮する路線であることを認識した。 このことから、避難経路だけでなく、救命救急や物流の輸送としての広域的な機能を発揮させるため、当区間を含め圏域内のミッシングリンクについて早期の解消を図る必要がある。
15	青森県	八戸市	6	ウィンタースポーツのリーディング圏域として、国際大会や合宿等の誘致を見据えながら、国際大会が開催可能な国内3番目となる屋内スケート場の建設を契機としたスケート振興をはじめ、各種ウィンタースポーツの振興に関する取組を重点的に推進すること			「雪国東北の暮らし向上プロジェクト」に関する事項	八戸市では、青森県と連携しながら、帯広市、長野市に続く国内3番目の国際大会が開催可能な屋内スケート場の建設を進めている。 それに併せて、課題となっているスケート人口の増大と競技力の向上に向けて、競技レベルに合わせたスケート教室や指導者講習会の開催など、氷都八戸の再生を図るとともに、青森県スケート連盟と連携した国際大会や強化合宿の誘致活動の取組を進めることとしている。 こうした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、圏域の住民が「雪・氷・冬」を楽しむ機会が創出されるとともに、国内外からの東北圏への誘客や、雪や氷など東北ならではの魅力向上の効果が高まることが期待される。

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町 村名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
16	岩手県	北上市	1	エネルギー・インフラとしての LNG広域供給体制の整備			「次世代産業の研究・産業集積拠点形成プロジェクト」の企業立地の促進、域内調達率の向上に関する事項	平成26年度に東北経済産業局において「北上・金ヶ崎地域における天然ガス利活用勉強会」が開催され、地方における産業競争力の強化を進めるため、天然ガスの広域供給事業の推進が不可欠との指摘がなされており、エネルギー・セキュリティの向上や国土強靱化のためにも、同インフラの整備が期待される。
17	青森県	八戸市	7	レアアース開発や海底下層部の生命圏の研究を含めた新たな海洋資源の開発に向けた人材や関連産業の育成に関する取組を重点的に推進すること			「次世代産業の研究・産業集積拠点形成プロジェクト」の次世代技術等の研究開発の促進等に関する事項	国立研究開発法人海洋研究開発機構の地球深部探査船「ちきゅう」による掘削調査により、八戸沖の海底下における炭素循環システムや世界最深の微生物群の解明に向けた研究が行われている。 このような中、八戸工業大学は同機構との連携協定に基づき、海洋資源開発に関わる人材育成や海洋エネルギーに関する研究・技術開発など、共同で事業を進める拠点となる「JAMSTEC連携連絡室」を開所したところ。 また、政府関係機関の地方移転に係る八戸市関係分として、同機構の人材育成機能の一部を同大学に移転するよう青森県が国に提案をしている。 3方を海で囲まれ、広大な海域を有する東北圏の強みを生かした幅広い分野における海洋開発の取組が重要であり、こうした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、高度技術人材や、その受け皿となる関連産業の集積が図られ、東北の地域資源を有効に活用した次世代産業の拠点形成に向けた研究開発等の促進の効果が高まることが期待される。
18	青森県	八戸市	8	八戸三社大祭、角館祭り、土崎神明社祭、花輪祭、新庄まつりの「山・鉾・屋台行事」ユネスコ無形文化遺産登録(代表一覧表記載)に向けた取組を通じた歴史的祭礼行事の次代への継承に関する取組を重点的に推進すること			「『四季の魅力溢れる東北』を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクト」の歴史・伝統文化の保存・継承に関する事項	八戸市では、地域と一体となって、八戸三社大祭の保存・継承に努めてきており、今回のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組の一環として関係機関・団体と連携しながら周知の強化を図っている。 八戸市を含む東北5市が登録に向けた代表一覧表に記載されているところであり、こうした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、世界に誇る伝統文化の継承機運が盛り上がるとともに、観光資源としての魅力発信の効果が高まることが期待される。

東北圏広域地方計画に対する市町村計画提案と対応方針

通し No.	都府 県名	市町 村名	提案 No.	計画提案の内容 (計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資 料における関連箇所			計画提案の理由
					中間 整理 頁	PTNo.	関連箇所	
19	青森県	八戸市	9	三陸ジオパークを活用した観光振興に関する取組やニューツーリズムの一環としてジオツーリズムの創出や受け皿づくりの取組を重点的に推進すること		9	『『四季の魅力溢れる東北』を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクト』の被災地を含めた東北全体の活性化を促す観光ビジネスの構築に関する事項	青森県、岩手県、宮城県の3県にまたがる三陸ジオパークについて、構成市町村等で構成される三陸ジオパーク推進協議会において、ジオツアーやフォーラムの開催等の広域的な取組が行われている。 こうした取組が広域的観点から重点的に推進されることにより、三陸復興国立公園やみちのく潮風トレイルとの観光面における相乗効果が高まることが期待される。